

現況検査により認められる状況の記録

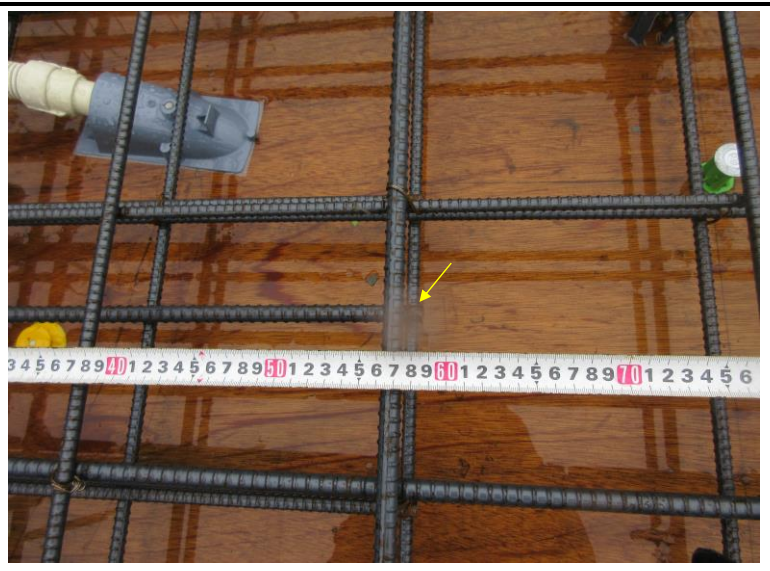
令和5年6月2日	
NO	121
場所	CD棟
部位	キャンティスラブ (CS3)
キャンティスラブ (CS3) 端部の立上がり部分の形状が計画 (施工図) 通りであることを確認。	




令和5年6月2日	
NO	122
場所	CD棟
部位	キャンティスラブ (CS3)
同上。鉄筋かぶり厚さ (20mm以上) が確保される状況であることを確認。	



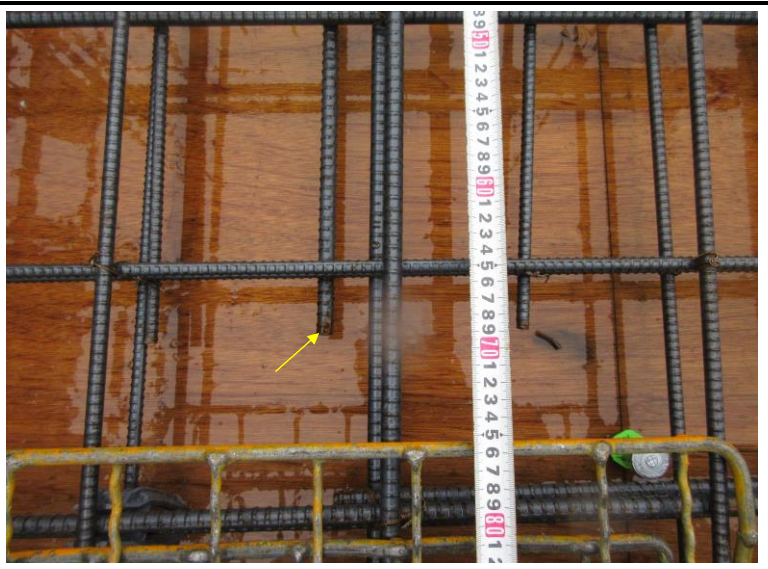

令和5年6月2日	
NO	123
場所	CD棟
部位	キャンティスラブ (CS3)
キャンティスラブ (CS3) の上端主筋の定着長さ (梁の内面より500mm) が確保されていることを確認。	

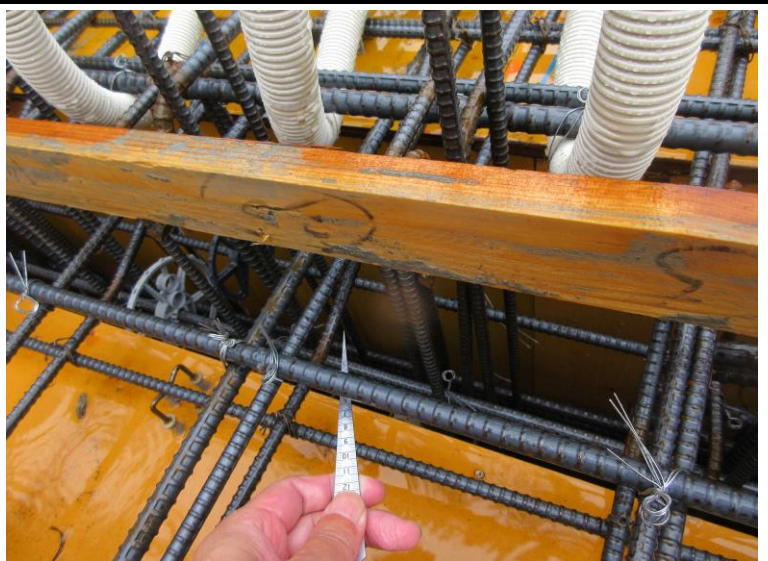


現況検査により認められる状況の記録

令和5年6月2日	
NO	124
場所	CD棟
部位	キャンテイスラブ (CS3)
同上。	



令和5年6月2日	
NO	125
場所	CD棟
部位	キャンテイスラブ (CS3)
CS3の段差部に対して、補強筋の設置が欠落している箇所があることを指摘。	



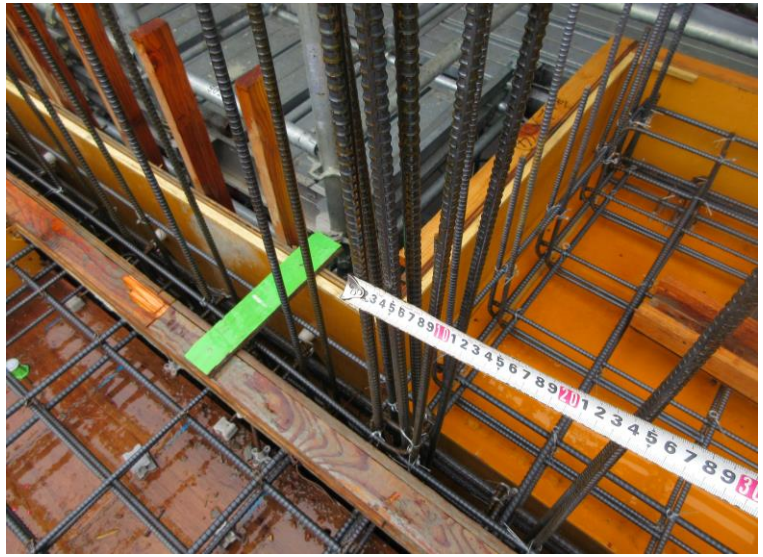
令和5年6月2日	
NO	126
場所	CD棟
部位	キャンテイスラブ (CS3)
上記指摘に関しては、その場にて是正が行われたことを確認済。	





現況検査により認められる状況の記録

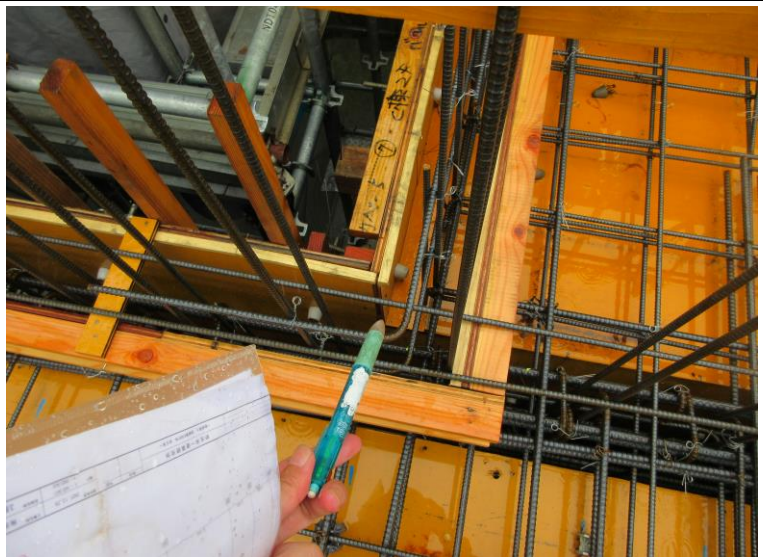
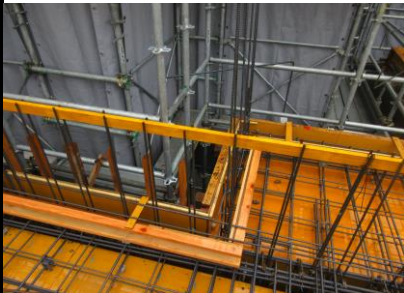
令和5年6月2日	
NO	127
場所	CD棟 (C棟)
部位	壁端部補強筋
壁端部 (交差部) 補強筋が計画 (施工図) 通りに設置されていることを確認。	



令和5年6月2日	
NO	128
場所	CD棟 (C棟)
部位	壁端部補強筋
同上。	



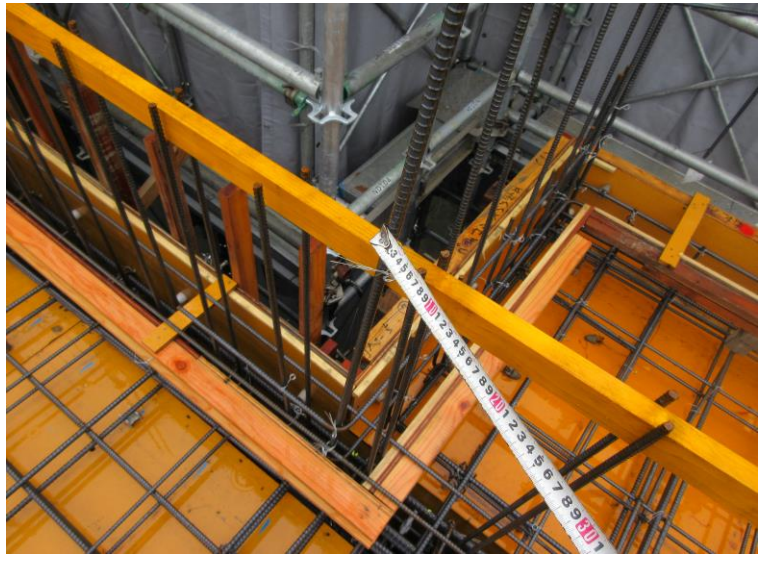
令和5年6月2日	
NO	129
場所	CD棟 (C棟)
部位	壁端部補強筋
CS1のバルコニー手すり壁とW18の取り合う部分に端部 (交差部) 補強筋の欠落している箇所があることを指摘。	





現況検査により認められる状況の記録

令和5年6月2日	
NO	130
場所	CD棟 (C棟)
部位	壁端部補強筋
上記指摘に関しては、その場にて是正が行われたことを確認済。	
	



令和5年6月2日	
NO	131
場所	CD棟 (D棟)
部位	壁端部補強筋
同上。上記の同様箇所に関しても、その場にて、全数適切に是正が行われたことを確認済。	
	



令和5年6月2日	
NO	132
場所	CD棟 (D棟)
部位	壁端部補強筋
同上。	
	

